

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-46728

(43)公開日 平成6年(1994)2月22日

(51)Int.Cl<sup>5</sup>

A 01 M 1/14

識別記号

庁内整理番号

A 8602-2B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 4(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-257533

(22)出願日 平成4年(1992)7月30日

(71)出願人 000003148

東洋ゴム工業株式会社

大阪府大阪市西区江戸堀1丁目17番18号

(72)発明者 久岡 正明

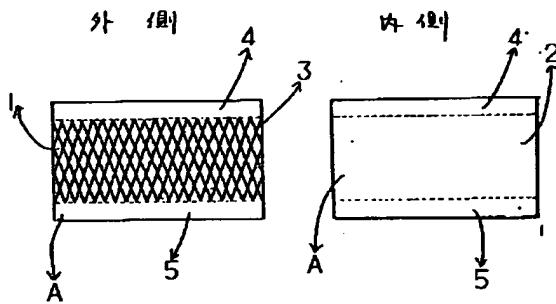
兵庫県宝塚市寿町1・7

(54)【発明の名称】樹木害虫捕獲材

(57)【要約】 (修正有)

【構成】外側の基材A表面1には、上部外周部4と下部外周部5を除いた中央部分にヘツシヤンクロス3、又は寒冷沙を粘着剤で付着した粘着層を形づくる。内側の基材A表面2には粘着剤が付着された粘着層を形づくる。

【効果】粘着層を有する害虫捕獲材が風雨に弱い欠点をなくし、両面に粘着層を設けることにより従来より2倍の効果をあげる。



Best Available Copy

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 生木樹皮の外表面と相接する面と外気に接する面に粘着層を有する基材を被覆接着したことを特徴とする樹木害虫捕獲材。

【請求項2】 紙の両面又は片面に寒冷沙又はヘッシャンクロスの如き粗織物布を付着させた基材を用いることを特徴とする請求項1記載の樹木害虫捕獲材。

【請求項3】 不織布の両面に粘着層を有する基材を用いることを特徴とする請求項1記載の樹木害虫捕獲材。

【請求項4】 両面に粘着層を有する基材の上部の外周部及び下部の外周部が2~3センチメートルにわたって粘着層をもたないことを特徴とする請求項1, 請求項2及び請求項3記載の樹木害虫捕獲材。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】生樹木の害虫捕獲材に関する。

## 【0002】

【従来の技術】生木樹皮の外表面に相接する面に粘着層を有する基材を樹木の成長方向に対して平行になるよう多く角形に折曲げ加工したものと接着して使用していた。

## 【0003】

【従来技術の問題点】紙製の片面に粘着層をつけた害虫捕獲材は風雨に弱い欠点がある。風雨に強くするために撓水加工を行うと粘着剤の耐久性に問題がでてくる。又樹皮と基材との間だけの害虫捕獲では外気との接触部の害虫は捕獲できないという欠点があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために銳意研究した結果、本発明に到達したものである。すなわち、生木樹皮の外表面と相接する面と外気に接する面に粘着層を有する基材を被覆接着した方法であり、両面に粘着層を設けることにより従来より二倍の効果をあげようとするものである。又紙の強度をもたすため、紙の両面又は片面に寒冷沙又はヘッシャンクロスの如き粗織物布を付着させた基材を用いる方法を用いる。粗織物を用いることによって害虫の付着による捕獲が容易になるという副次的効果もある。さらに、不織布の両面に\*

\*粘着層を有する基材を用いることも可能である。加えて作業性を考慮して、両面に粘着層を有する基材の上部の外周部及び下部の外周部が2~3センチメートルにわたって粘着層をもたない部分を設ける。

【0005】本発明を図面に基いて説明する。図1はヘッシャンクロス3を用いた基材Aの側面図で左側は外側の側面図で外側の基材表面1には上部外周部4と下部外周部5を除いた中央部分にヘッシャンクロスを粘着剤で付着して粘着層を形づくっている。粘着剤は特定しないが3ヶ月空気中で暴露しても変質しない材料を使用する。右側の内側の基材表面2には粘着剤が付着されて粘着層を形成している。内側の表面にヘッシャンクロスや寒冷沙を粘着剤と共に付着して粘着層を形成してもよい。

【0006】図2は寒冷沙を用いた基材Aの側面図で左側は外側の側面図で外側の基材表面1には上部外周部4と下部外周部5を除いた中央部分に寒冷沙を粘着剤で付着して粘着層を形づくっている。右側の内側の基材表面2には粘着剤が付着されて粘着層を形成している。内側の表面には寒冷沙やヘッシャンクロスのような粗織物を粘着剤と共に付着して粘着層を形成してもよい。

【0007】上記とは別に基材に不織布を使用してその表面に粘着剤を塗着させて両面に粘着層を作り害虫捕獲材として樹皮に接着させることも可能である。

【0008】【作用】両面に粘着層を付着した基材の両面には剥離紙で粘着層を被覆しておき、生木樹皮に当接する基材の剥離紙をはがしながら樹皮幹を一周して余裕をみて接着する。接着後に外気に触れる基材の外側部の粘着層上の剥離紙をはぎとる。生木樹皮幹と基材内側の接着状態と害虫の通過可能な空隙の有無を点検する。

## 【0009】

【発明の効果】生木樹皮幹周1米の木の地上2米、3米、4米の所に幅3.5センチメートル、上部外周部2.5センチメートル、下部外周部2.5センチメートルの所には粘着層のない、両面ヘッシャンクロスを粘着剤と共に付着した基材を巻着し、剥離紙を取り外し、3ヶ月後に害虫捕獲数を数えた。

		粘着層面積	害虫捕獲数
地上2米	内側	30cm × 100cm	90匹
	外側	30cm × 100cm	60匹
地上3米	内側	30cm × 90cm	70匹
	外側	30cm × 90cm	70匹
地上4米	内側	30cm × 80cm	50匹
	外側	30cm × 80cm	80匹

※1 外側の基材表面

2 内側の基材表面

3 ヘッシャンクロス

4 上部外周部

5 下部外周部

## 【図面の簡単な説明】

【図1】ヘッシャンクロスを用いた外側と内側の基材の側面図。

【図2】寒冷沙を用いた外側と内側の基材の側面図。

## 【符号の説明】

※50

(3)

特開平6-46728

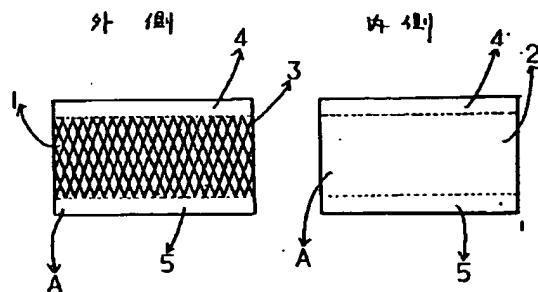
3

4

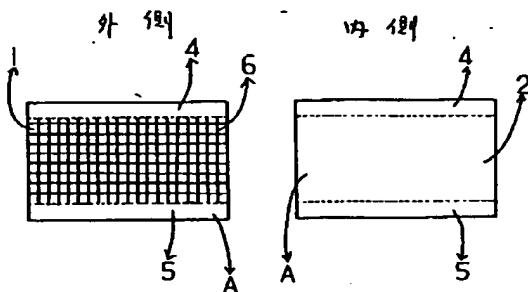
6 寒冷地

A 基材

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP406046728A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06046728 A  
TITLE: MEMBER FOR CATCHING TREE INSECT PEST  
PUBN-DATE: February 22, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
HISAOKA, MASAAKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOYO TIRE & RUBBER CO LTD	N/A

APPL-NO: JP04257533

APPL-DATE: July 30, 1992

INT-CL (IPC): A01M001/14

US-CL-CURRENT: 43/126

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the member exhibiting a more excellent weather resistance than in the conventional one by covering a base material in which both the side coming into contact with the outer surface of a raw tree bark and the side coming into contact with the outside air are each coated with an adhesive layer and fastening them.

CONSTITUTION: The objective catching member is composed of a base material  
(A) (prepared by bonding a rough fabric 3 such as a cheese cloth or a hessian cloth to one side or both the sides of paper so that a peripheral part 4 not having a tacky layer over 2 to 3 cm width may be formed at each of the lower

and upper peripheries) in which one side or both the sides are each coated with a tacky layer and a release paper covering one side or both the sides thereof. In addition, this member is applied to a raw tree by going round the trunk while removing the release paper covering the base material contacting with the raw tree, fastening it leaving a surplus and subsequently removing the other release paper covering the tacky layer on the outside part of the base material in contact with the outside air.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**